

宇土市公共事業再評価委員会概要録

日 時	令和元年 10 月 18 日（金） 13：30～
場 所	市役所仮設庁舎 2 階大会議室 2
要 件	第 1 回 宇土市公共事業再評価委員会
出席者	宇土市長 元松 茂樹（代理 宇土市副市長 谷崎 淳一） 公共事業再評価委員会委員 7 名 滝川 清，本田 健二，中村 司，吉川 満璃子， 桑田 宏一，小山 龍次，赤澤 幸一 土木課 渡邊課長，坂田係長，末富技師 企画課 宮崎課長，三浦係長，菅村技師
欠席者	なし
概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 副市長挨拶 挨拶後，副市長退席 4 委員長選出 滝川委員に決定 5 委員長挨拶 6 再評価委員会について 事務局より委員会の概要及び再評価制度について説明 7 再評価対象事業概要説明 事業担当課から船場川改修及び大坪川改修事業について概要を説明 （主な質疑・意見等） <ul style="list-style-type: none"> ・ 船場川における調整池は常に水がある状態である。土砂が堆積しているのではないか？ → 葦が植生しているが，土砂が堆積しているわけではない。河川の水位が下がれば調整池の水位も下がる。 ・ 事業進捗の不良について，市の財政面が厳しいことを理由にしているが，他公共事業がどの程度あり，どのぐらいの予算を使ってきたのかなど，宇土市の公共事業の全容が分かる資料の提示をお願いしたい。 ・ 事業が完全に完了したとしても，満潮時と想定以上の大雨が重なれば浸水被害は発生するであろう。最悪の状況を想像し，生命・財産を守るために，行政まかせではなく，自分達，地域住民がどういったことができるのか等を考えていく必要がある。

8 現地視察

船場川及び大坪川の現地状況を視察

次回の会議は、令和元年11月18日。

次回会議において、宇土市の公共事業の全容が分かる資料の提示、浸水被害についてどの程度の雨を想定しているのか、改修完了後はどの程度まで浸水せずに大雨に耐えうるのか等の説明を行うことを委員長より求められた。